

書籍・雑貨

高山文庫

高山文庫は主に洋装本を扱う古本屋である。始業して35年、中崎町へ移動して8年になる。書店内には天井まで伸びる大きな本棚が連なっており、8千冊にもおよぶ古書が収められている。古書は最近のものから明治時代のものまで幅広い時代のものであり、見た事のない本と出会う事が出来る。また、店内の随所には可愛らしい小物やフィギュアが顔を覗かせていて、本選びの合間の一息に、探してみるのも楽しい。

取材班のイチオシ!



「江戸のデザイン」
木版摺りの華麗な意匠
ロマン・ムック2」
(1997年 / 小学館)

タイトルに惹かれました。中を開くと今の時代には無いおもしろい色合いや柄のデザインがたくさんありました。時代は一周するということで、今後もしかしたら江戸デザインが流行るかもしれないですね。

「ペン画の兵隊」

表紙の、ペンで描かれた兵士の絵と、本の古さに惹かれて選びました。タイトルにもある通り、戦時中の兵士のが書かれていました。表紙に「太田上等兵著」とあるので、ノンフィクションのようです。



「幻想と怪奇」

(1973年～1974年 / 年歳月社)

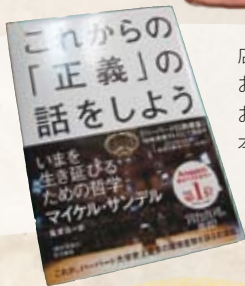
「幻想文学」(1982年～2003年 / 幻想文学会出版局)

オカルト系の書物が集中している棚があり、怖い物見たさでつつい覗いてしまいました。レトロなデザインとイラストがより神秘的な雰囲気を出しています。

現代人よ、
今こそ本を読もう!
赤い棚がトレードマークの
アートな古書店



「スマートフォン代を節約して
ぜひ本を読んでください」



店主の高山義一さん。

おすすめの本を尋ねると、「本はお客さんが選ぶもの。ぜひ自分でお気に入りを見つけてください」とのこと。代わりに最近読んだ本を教えていただいた。

[これからの「正義」の話しよう]

- マイケル・サンデル著 / 鬼澤忍訳 / 早川書房

本棚のすみに隠れているよ!



ほくたちを見つけろね!



〒530-0022
大阪市北区
浪花町4-12
TEL/FAX
06-6374-1837
休日 不定休
11:00～21:00

<http://www2.ocn.ne.jp/~violin8/>